

「想定最大規模降雨による内水浸水想定区域図」 説明会資料

令和7年10月
我孫子市建設部治水課

説 明 内 容

1. 市の水害対策について
2. 想定最大規模降雨による内水浸水想定区域図を作成した目的
3. 想定最大規模降雨とは
4. 内水氾濫と外水氾濫の違いについて
5. 浸水深の目安について
6. ハザードマップとの違いについて
7. 大雨時の情報収集
8. 治水課からの情報提供

1. 市の水害対策について

我孫子市の地形的特徴

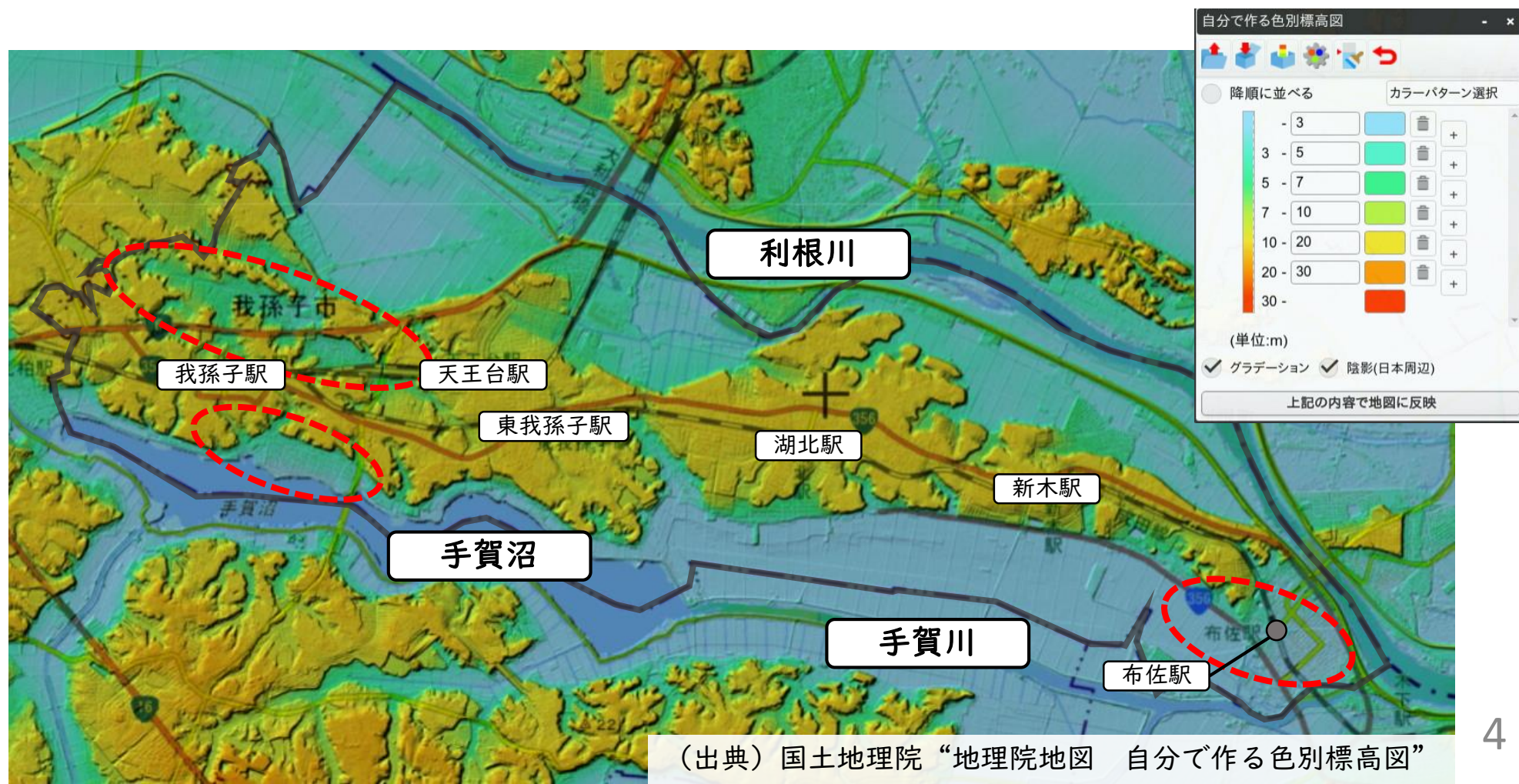
西側の国道6号、市を横断する国道356号が尾根部分を通っており、尾根から北側は利根川へ、南側は手賀沼、手賀川に排水するようになっています。また、すり鉢状の地形が多く点在しています。



1. 市の水害対策について

浸水被害の発生しやすい箇所

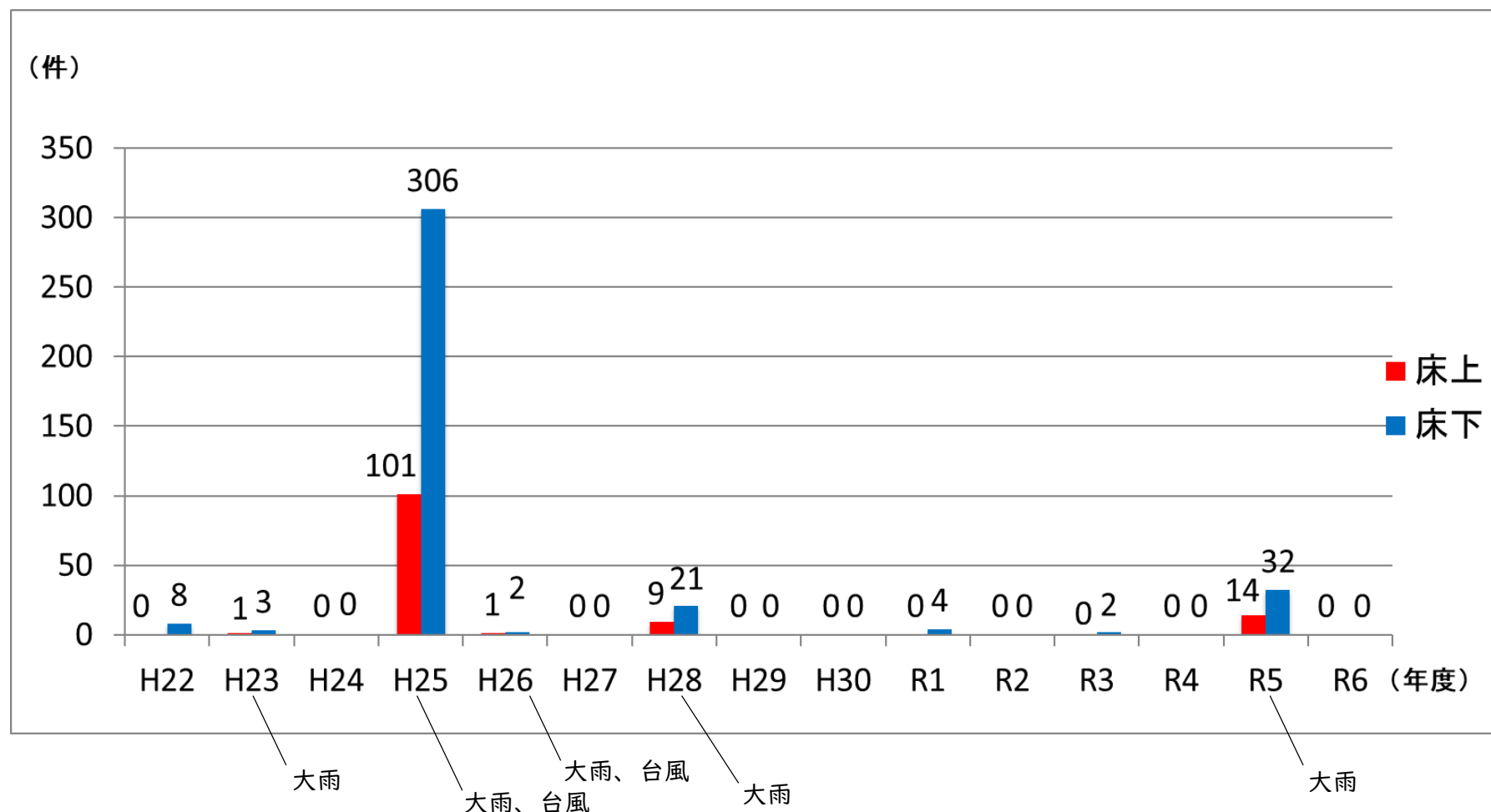
水害は利根川や手賀沼に近い低地部や、内陸部においても周辺を高台に囲まれた低地部や、すり鉢状の地形をしている箇所で浸水被害が発生しやすくなっております。



Ⅰ. 市の水害対策について

我孫子市の年度別浸水被害件数

H22～R6年までの15年間で126件の床上浸水と378件の床下浸水の被害が発生しています。被害の多くは、台風及び短時間に局所的に降るような、突発的な集中豪雨によるものです。



1. 市の水害対策について

我孫子市の水害対策

1時間雨量50mm対応を目標に、これまでの浸水被害の状況を踏まえ幹線整備、ポンプ場の建設、雨水管の布設といった事業を実施しています。

令和7年度現在は、布佐排水区、柴崎排水区の整備事業を進めています。



2. 想定最大規模降雨による内水浸水想定区域図を作成した目的

「想定最大規模降雨による内水浸水想定区域図」とは

1時間最大雨量153mmで発生する内水氾濫をシミュレーションし、
浸水が想定される区域、浸水深、浸水が継続する時間を示したものです。

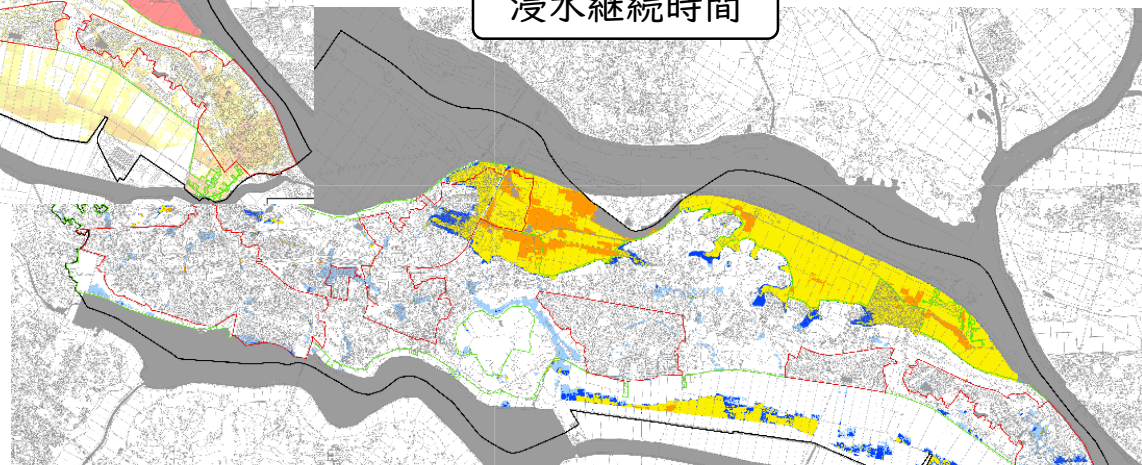
水害から身を守るため、皆様のお住まい、職場、学校の周りで想定される浸水リスクをご確認いただき、活用するために作成・公表しています。

浸水想定区域、浸水深

我孫子市HP “想定最大規模降雨による内水浸水
想定区域図（雨水出水浸水想定区域図）の公表”



浸水継続時間



※この図は、想定最大規模降雨（1時間最大雨量153mm）による内水氾濫をシミュレーションした結果を示したものです。実際の浸水状況は、降雨の状況、地形、建物、道路の状況などによって異なります。また、この図は、過去の経験に基づいて作成されたものであり、将来の浸水状況とは必ずしも一致しません。

3. 想定最大規模降雨とは

想定最大規模降雨とは

想定し得る最大規模の降雨であり、国土交通省が作成した手法により設定したものです。我孫子市では1時間最大雨量153mm、24時間総雨量390.5mmとしています。

(参考) 我孫子市においては、平成20年8月30日の集中豪雨による1時間最大雨量104.5mmがこれまでに最大の降雨です。この集中豪雨により床上浸水28件、床下浸水145件の被害が発生しました。

1時間雨量 (mm)	雨の強さ (予報用語)	人の受ける イメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
50～80	非常に 激しい雨	滝のように降る。 (ゴーゴーと降り 続く)	傘は全く役に立たなくなる。		水しぶきであたり一面 が白っぽくなり、視界 が悪くなる。	車の運転は危険。
80～	猛烈な雨	息苦しくなる ような圧迫感 がある。恐怖 を感じる。				

(出典) 気象庁・リーフレット「雨と風(雨と風の階級表)」

4. 内水氾濫と外水氾濫の違いについて

内水氾濫

雨水が管路や道路側溝などで排水しきれずに溢れたり、地上にたまった雨水による浸水被害

外水氾濫

河川の堤防の決壊や河川からの溢水による浸水被害

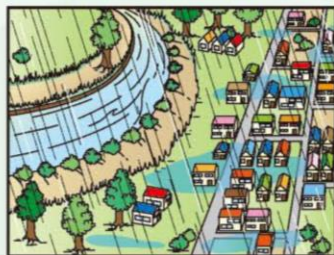
今回公表したものは「想定最大規模降雨による内水浸水想定区域図」となります。

内水氾濫と外水氾濫

内水氾濫の発生



非常に激しい雨が降ると



雨水が下水道や道路側溝などで排水できずに溜まります。

洪水(外水氾濫)の発生



さらに雨が降り続けると、河川の水位が上昇し、堤防が決壊するおそれがあります。



堤防が決壊すると、多大な被害が発生します。

●内水氾濫

道路冠水が始まった場合は、内水氾濫により住宅が浸水する前兆ですので注意が必要です。

●洪水(外水氾濫)

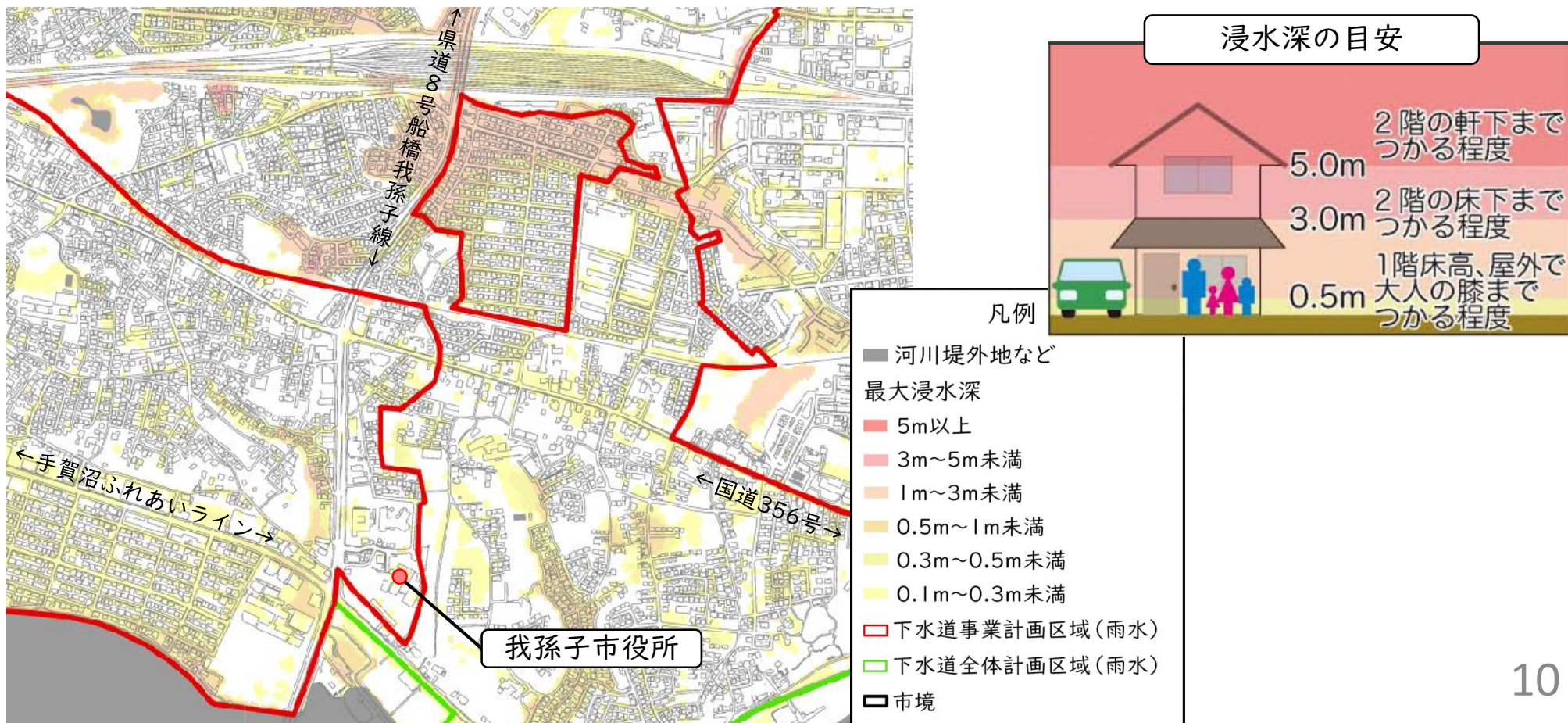
堤防に亀裂が入ったり、水が噴出している場合は、堤防の決壊が発生する前兆ですので注意が必要です。

5. 浸水深の目安について

浸水深（しんすいしん）の目安は

一般的に0.45m未満で床下浸水、0.45m以上で床上浸水とされています。また、3.0m以上で家屋の1階が水没し、5.0m以上で家屋の2階が水没すると言われています。

参考として、市役所周辺の内水浸水想定区域図を示します。



6. ハザードマップとの違いについて

ハザードマップは

円滑な避難行動や平常時からの防災意識の向上を図るために、浸水想定区域図をもとに水害時の避難場所、避難方法などの情報を追加し、作成するものです。

あびこハザードマップの次回更新時に、この内水浸水想定区域図をもとに内水ハザードマップが作成される予定です。

(参考) あびこハザードマップ
洪水ハザードマップ 利根川



7. 大雨時の情報収集

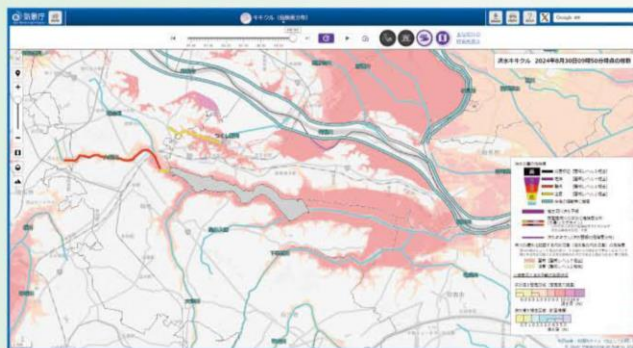
大雨時の情報収集についてご紹介しますので活用ください。

① キキクル（気象庁）

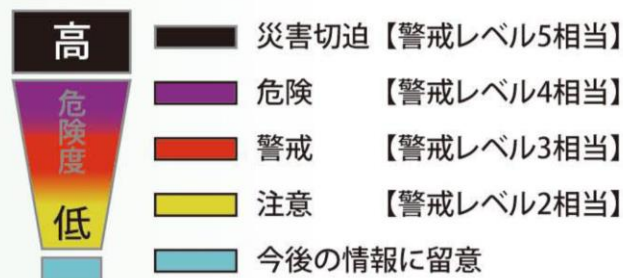
気象庁からの情報「キキクル」

地域の危険度を、地図上に示したページです。現在の自宅等周辺の危険度を確認して、命をまもる適切な行動をとってください。

土砂災害や洪水等の危険度を確認してください。土砂災害（がけ崩れ）や浸水害はエリアで、洪水災害は河川ごとに危険度が表示されます。



洪水災害の危険度



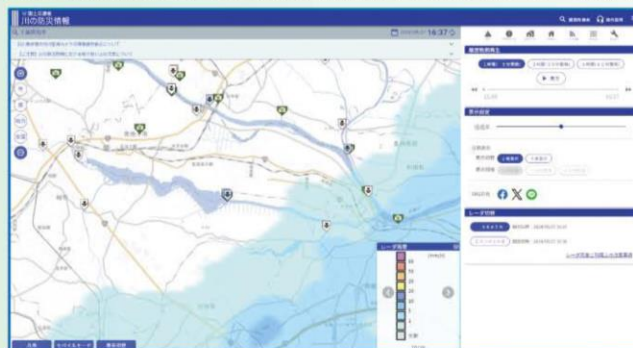
（出典）あびこハザードマップ



② 川の防災情報（国土交通省）

国土交通省からの情報「川の防災情報」

川の防災情報では、川の水位情報や河川カメラ（河川の様子）、降雨情報等が確認できます。



<https://www.river.go.jp/index>



（出典）あびこハザードマップ

7. 大雨時の情報収集

③我孫子市公式LINE

我孫子市公式LINEにて防災関係の情報を取得することが出来ます。
是非、友達登録をお願いします。



友達登録はこちらから↓



7. 大雨時の情報収集

④我孫子市公式X、治水課X



我孫子市公式X、治水課Xでは市民の皆さま
において情報を発信しております。

治水課Xでは治水関係の情報に特化して発信
しておりますので、ご覧ください。

・ 我孫子市公式X



・ 治水課X



7. 大雨時の情報収集

(参考) マイ・タイムライン

マイ・タイムラインとは、一人一人がハザードマップなどを活用して、台風や大雨などに備えて「いつ」「誰が」「何をする」か、自分自身が取る標準的な防災行動を時系列的に整理し、あらかじめ決めておくものです。9月1日広報あびこ 8・9面に作成手順を紹介しております。

広報 あびこ

大雨に備えるマイ・タイムライン

No.1629 令和7(2025)年9月1日号

9

8 No.1629 令和7(2025)年9月1日号

大雨に備えるマイ・タイムライン

広報 あびこ

ハザードマップで確認

マイ・タイムラインで風水害に備えよう

マイ・タイムラインは、一人一人がハザードマップなどを活用して、台風や大雨などに備えて「いつ」「誰が」「何をする」か、自分自身が取る標準的な防災行動を時系列的に整理し、あらかじめ決めておくものです。洪水や崖崩れなどに備え、行動のチェックリストとして「逃げ遅れゼロ」に向けた安全な避難のための準備をしましょう。

市 市民安全課・内線295

外出先で大規模な災害に遭った時の心得

公共交通機関が停止し多くの人が一斉に帰宅を始めると、危険だけでなく救助・救急活動の妨げにもなります。

むやみに移動を開始しない

- 身の安全を確保し、職場や集客施設などの安全な場所にとどまる
- 災害用伝言サービスで家族の安否を確認
- 交通情報や被害情報を入手

まずは

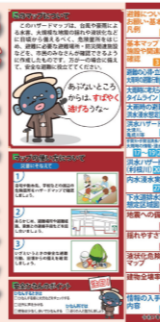
あびこハザードマップを準備

「あびこハザードマップ」は、市民課(市役所本庁舎1階)、市民安全課(市役所本庁舎地階)、各行政サービスセンターで配布しているほか、市ホームページで閲覧できます。



▲市HP

あびこハザードマップ



立ち退き避難・垂直避難

災害時は早めの避難が重要です。高齢者等避難や避難指示が発令されていても、避難経路がすでに浸水しているなど危険が間近に迫っている場合は、無理な避難を避けて近隣の高い建物や自宅の2階などへ避難してください。土砂災害の危険がある場合は、崖と反対側の部屋などに避難しましょう。



マイ・タイムラインの作成手順

1 自宅の浸水の深さは？

→ハザードマップP18～25 洪水ハザードマップ

自宅が浸水想定区域か、どのくらいの深さまで浸水するか、自宅の何階まで浸水するか確認しましょう。
※利根川と手賀川・手賀沼で、氾濫による浸水想定区域・深さ・時間が異なります。

2 浸水はいつ解消する？

→ハザードマップP26 浸水継続時間マップ

どれくらい浸水し続けるか確認しましょう。

3 土砂災害のリスクは？

→ハザードマップP3～8 基本マップ

自宅が土砂災害警戒区域か確認しましょう。



4 避難先を決める

→ハザードマップP10 大雨時の避難行動

→ハザードマップP9 避難の心得・立ち退き避難

④⑤の区域でない
高い場所(マンションなど)に住んでいる → 自宅にとどまる
※水、食料、携帯トイレなど、3日以上を用意しましょう。

④⑤の区域に住んでいる → 区域外の親戚の家などへ避難

市が開設する避難所へ避難
※できるだけ早期に安全な経路で避難してください。危険が間近に迫っている状況では、自宅の2階などの高い場所へ避難(垂直避難)するといふ判断も必要です。

5 非常持ち出し品を確認

→ハザードマップ裏表紙 非常持ち出し品・備蓄品

備蓄品や水は事前に準備しましょう。
※常備薬や眼鏡など、普段使っている物も忘れずに準備してください。

書き込み式

マイ・タイムライン

1 最大浸水深は m
(階まで漬かる深さ)

5 非常持ち出し品

2 浸水継続時間は

3 土砂災害のリスク
☐ 区域内 ☐ 区域外

6 情報の入手手段

4 避難先は
☐ 自宅
☐ []
※安全な避難経路を確認する

6 情報の入手手段を確認

→ハザードマップP41～42 情報の入手先と内容

テレホン案内 ☎120-031676

防災行政無線が聞き取れなかった場合、放送内容を聞くことができます。
※新たな内容が放送された場合は、情報が更新されます。

メール配信サービス

abiko-reg@kmet.jpへ空メールを送り(二次元コードから送信可)、折り返し送られてくる案内に沿って登録すると、防災行政無線の内容をメールで受信できます。



▲メール配信サービス登録

市LINE公式アカウント

防災行政無線の内容をLINEで受け取れます。※友だち追加方法は欄外参照

その他



8. 治水課からの情報提供

雨水貯留タンク設置補助金

「我孫子市雨水貯留タンク設置補助金交付要綱」
に基づいて雨水貯留タンク設置補助金の助成を行っています。



【交付対象】

我孫子市内に所有する家屋等の建築物の敷地内に雨水貯留タンクを設置出来る方。

【容量制限】

一時的に150リットル以上の雨水を貯めることが出来るもの。(市販、自作可)

【交付補助金額】

雨水貯留タンクの設置費用を助成。ただし
1基につき30,000円。
2基以上の場合50,000円が上限額。



設置事例

ご清聴ありがとうございました。

